

1. 国際交流事業（平成 30 年度）

（1）韓国・烏山大学との教育交流

平成 30 年度は、烏山大学から長期交換留学生として計 2 名の学生を 4 月から 1 年間、2 名の学生を半年間（前期 6 ヶ月 1 名、後期 6 ヶ月 1 名）受け入れた。なお、本学からは、生活デザイン総合学科の学生 1 名、学部学生 2 名（家政学部）を 3 月初旬から 1 年間派遣した。

短期語学研修プログラムとして、7 月に烏山大学から学生 13 名を受け入れ、3 週間にわたって日本語および日本文化研修を実施した。

また、8 月の 2 週間、語学・文化研修プログラムを実施し、生活デザイン総合学科の学生 14 名、現代マネジメント学部の学生 2 名の計 16 名の学生を烏山大学に派遣した。

（2）カナダ・カピラノ大学並びに中国・北京第二外国語学院との教育交流

カナダ・カピラノ大学から交換留学生として 2 名の学生が 4 月から 7 月までの 4 ヶ月間滞在して、日本語・日本文化・社会などの授業を受けた。

カピラノ大学へは、学部学生 1 名（家政学部）と短大・生活デザイン総合学科の学生 2 名が交換留学生として 8 月から 12 月下旬までの 4 ヶ月間派遣した。

北京第二外国語大学とのプログラムは、交換留学生 2 名を現代マネジメント学部で受け入れた。

北京第二外国語大学の夏季短期研修・1 年間交換留学へ派遣した学生はともにいなかった。

（3）台湾・慈済科技大学との教育交流

台湾・慈済科技大学から交換留学生 1 名を現代マネジメント学部で受け入れた。

また、6 月に慈済技術学院の学生 10 名を 1 週間、豊田・岡崎両キャンパスで日本語・日本文化研修プログラムに受け入れた（岡崎学舎での研修は 2 日間）。

慈済科技大学が実施している 9 月 1 日からのセミナーに応募した学生はいなかった。

2. 地域連携事業

（1）岡崎げんき館事業

平成 30 年度「岡崎げんき館」事業は、昨年同様本学からの直接の情報発信（市内あるいは近隣市の小中学校に対して各種の予定パンフレットの配布、またHPによる広報の増大）を行い、講座や講演内容を親子参加型のワークショップとして実施した。

＊子どもと親のための公開講座（全 12 回実施）

＊健康づくり支援特別講座（2 回実施）

＊保育者のための幼児教育保育講座（7 月実施）

＊ちっちゃなコンンサート 16・ほら！春だよ♪

協賛：「春のげんきまつり」

（2）学生ボランティア活動

①岡崎げんき館での学生ボランティア「学泉のお姉さん・お兄さんと遊ぼう」は、利用者の要望に応え、木曜日の午前中に（4月～3月の計28回）開催することにより集客が定着している。

②東日本大震災被災地支援活動

生活デザイン総合学科の学生を中心として、2012（平成24）年より「笑顔の花を咲かせよう！」をテーマに、東日本大震災被災地を訪問しボランティア活動を継続的に行い、2018（平成30）年で7年目を迎えた。今年は、活動を2回行った。1回目は8月6日～8日の日程で学生7人、教員2人の9人で、岩手県大船渡市盛町の伝統ある灯ろう七夕祭りに参加し祭りのお手伝いをし、住民の方々と交流を図った。2回目は8月20日～23日の日程で学生17人、教員3人の20人で、昨年に引き続き気仙沼市の大島地区の小学校の体育館に地元の小学生、保育園児を招いて、手遊び歌、ゲームや工作を行い、交流をとおして親睦を図った。また、岩手県大船渡市の公営住宅（2018年3月いっばいで仮設住宅が閉鎖され公営住宅に移った）の集会所を訪問し、元仮設住宅で暮らしていた方々と一緒に歌やゲーム、工作で交流を図った。震災から7年半が経過したが、完全に復興したとは言えない状況下でも、被災地で暮らす方々が復興に向けて前向きに明るく頑張っている姿に励まされ元気と勇気をいただいた。一日も早い東北の復興をみんなで願った。

（3）地元との連携事業

学生会、短大・大学の学生および教員の地元への連携・協力事業は以下である。

①たつみがおか ふるさと夏まつり

主催：一般社団法人岡崎パブリックサービス・サンエイ共同事業体

協力：地元総代会・岡崎大学懇話会

②「花のとう」祭

主催：矢作商店街振興組合

③幼稚園教諭及び保育士を対象とした公開講座

主催：愛知学泉短期大学幼児教育学科

④岡崎観光夏祭り第70回花火大会 うちわデザイン制作

主催：岡崎市・岡崎市観光協会

⑤「やはぎ・飛鳥まつり in 北野廃寺」前年祭 飛鳥時代衣装制作の協力

共催：岡崎市

⑥岡崎市南公園秋まつり

主催：一般社団法人岡崎パブリックサービス

⑦木曜サロン活動

生活デザイン総合学科では、大学近隣の地域担当の橋目地域包括支援センターと協働し、住民の方を招き「木曜サロン」を開催している。運営はゼミ活動の

一環として小山田、菅瀬、長谷川、秦、山本、後藤、木村各ゼミの学生が主体となり、サロン活動の内容を企画し、地域の方々との交流と活性化に貢献している。毎回 40 名を超える参加者が定着しており好評を得ている活動となっている。今後も継続して実施していく。

⑧「むらさき麦まつり」地域活動

平成 30 年 5 月 12 日に開催した、むらさき麦祭り「むらさき麦お菓子グランプリ」の企画・運営・参加及びむらさき麦を用いた料理教室を実施した。

3. 産学連携事業

本学では、まちづくり委員会が中心となり岡崎市役所、岡崎商工会議所、NPO法 21 世紀を創る会・みかわ、岡崎大学懇話会（市内 4 大学・3 短期大学を含む）が連携して産学連携事業を実施している。以下は主な活動である。

(1) 「市民大学」・市民への大学開放講座

○市民大学

主催：岡崎市社会文化市民協働推進課 会場：リブラ

実施日	テーマ	講師	受講者
9月29日	江戸の夢—錦絵誕生物語 絵と歌と洒落の融合—	千賀敬之	60

(2) 第 19 回地域活性化フォーラム（岡崎大学懇話会産学共同研究助成事業）

共催：岡崎市、NPO法人 21 世紀を創る会・みかわ、岡崎商工会議所

実施日	テーマ	講師
3月9日	「岡崎ブランド（おかざき三昧）の開発及び普及促進に向けたコンソーシアムの構築に関する共同研究」	食物栄養学科 根間健吉

(3) 「研究者名鑑」ネット掲載（岡崎大学懇話会HP）

(4) 地域活性化研究（第 18 号）平成 30 年 8 月発刊

(5) 学生会の活動（岡崎市内 7 大学からなる組織である）

①第 18 回学生フォーラム

日時：平成 30 年 12 月 1 日（土）、13 時～17 時 30 分、会場：愛知学泉大学・短期大学、共催：NPO法人 21 世紀を創る会みかわ、岡崎商工会議所

本学からは、愛知学泉短期大学生生活デザイン総合学科山本ゼミが「地域貢献活動—やはぎ・飛鳥まつり in 北野廃寺—」、愛知学泉大学・愛知学泉短期大学学生会が「2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知のボランティア活動について～ボランティアを通して育った能力～」を研究発表した。その他、展示発表は以下に示す 11 件であった。

4. その他

(1) 本学独自のプログラム：「生活と文化」講座 会場：岡崎げんき館

実施日	テーマ	講師
2月26日	「必見！江戸の妖怪たち」	千賀敬之 (生活デザイン総合学科)
2月27日	「私の頭の外の記憶」	山田陽平 (家政学専攻)
2月28日	「今、子どもに必要な心育て」	前田治 (こどもの生活専攻)
3月1日	「みんなで描こう！子どもたちの未来」	服部壮一郎 (幼児教育学科)

(2) 道の駅藤川宿との産学連携事業

生活デザイン総合学科の山本ゼミは、岡崎市市制100周年および徳川家康公顕彰400年記念事業を継続して、岡崎市の歴史的産業であった養蚕業にかかわりの深い繭玉を利用して創作した「徳川家康公まゆ人形」に加え、なゆ人形グッズを道の駅藤川宿との産学連携事業として常設販売している。

(3) オープンフィールドの開設

生活デザイン総合学科では、市民を対象にしたカリキュラムとして「オープンフィールド」を開設して、地域に学習の場を提供している。これらの講座内容は年毎に見直し、新たな講座内容を追加変更して開催している。

☆オープンフィールド開講講座

実施日	講座名	担当教員	受講者
9月10日～12月17日	茶道入門(8回)	小久保康子	7
9月11日～12月18日	華道入門(8回)	秦哲子	9
3月18日	染織工芸「ポケットティッシュカバーをステンシル染めで作りましょう」	小山田尚弘	6
3月20日	「腰痛ストレッチ体操」	秦真人	3

(4) 平成30年度名古屋土曜学習プログラム

主催：名古屋市教育委員会

実施日	場所	テーマ・内容	講師
7月7日	名古屋市市立豊岡小学校	フライングディスクを使ったディスコゴルフとアルティメット	秦真人(生活デザイン総合学科)
7月14日	名古屋市市立正木小学校	愛知県の伝統文化を学ぶとともに、まゆ玉を使った指人形を作る体験	山本豊(生活デザイン総合学科)

(5) 認知症カフェ事業

(有) ディサービス青空、(株) 縁サポートサービスと協定締結) 生活デザイン総合

学科木村ゼミは、岡崎市内の高齢者施設「ディサービスあおぞら」で、8月、2月の第二火曜日に若年性認知症の家族同士の交流ができるように、レクリエーションを実施した。「認知症対応型はなれ縁」では80歳以上で一人暮らしの高齢者を対象に、第四日曜日、毎月1回、認知症カフェの運営をしている。レクリエーション活動、健康啓発活動、簡単な健康チェックを行った。学生たちが積極的に高齢者、若年性認知症の方や家族に関わり地域貢献活動を展開した。

(6) 食物栄養学科は、法性寺ねぎフェア・JA 愛知三河、法性寺ねぎ生産者組合、愛知学泉短期大学共催で平成31年1月19日、道の駅藤川宿で開催した。

(7) 「おかざき三昧」普及促進事業・食イベントおかざき三昧フェア（主催：道の駅藤川宿、日時：11月10日、10時～16時）に食物栄養学科（根間、山本淳、古山、本田、学生）、生活デザイン総合学科（後藤、谷口、学生）が参加した。

(8) アピタ北岡崎店との連携事業

生活デザイン総合学科山本ゼミは、アピタ北岡崎店との産学交流活動として「まゆ人形・デコミラーを作ろう」ショップを出店し、地域の子どもたちとの交流を深める地域活動を行った。（平成30年7月28日、29日・平成31年2月23日）